

小平市育英資金奨学生の募集

小平市育英資金は、経済的理由により進学が困難な方に、学資の補助として中学校卒業時に5万円を給付する制度です。(返還不要)

対象 申請時に保護者とともに市内に在住している公立中学校3年生で、次のすべてに該当する方
▷経済的理由により就学が困難である
▷中学校3年間の学習成績の平均評定が3.0以上
▷高等学校、高等専門学校などに進学が決定している

定員 60人

申込み 2月上旬に在籍する学校を通じて案内を配付します。詳しくはそちらをご覧ください。

※小平市外の公立中学校に在籍している方は学務課へご相談ください。

問合せ 学務課 ☎042(346)9570

「特別支援教室の導入に伴う説明会」を開催 ～小学校の「情緒障がい等通級指導学級」が「特別支援教室」に変わります～

| | とき | ところ |
|---|--------------------|------------|
| ① | 1月28日(土) 午前10時～11時 | 福祉会館4階小ホール |
| ② | 2月1日(水) 午後7時～8時 | 市役所6階大会議室 |

内容 ・特別支援教室の概要について
・拠点校による特別支援教室への取組と導入に向けて

※各回の説明会の内容は同じです。また、10月～11月に開催した保護者向け説明会と内容は変わりません。

※申込不要

問合せ 指導課 ☎042(346)9572

区域外就学の取扱いと調整区域について一部変更しました

平成28年9月30日より審査基準を一部改正し、児童・生徒の通学の安全確保および中学校におけるいわゆる越境通学防止の観点から規定を整備しました。また、新たに調整区域を設けました。

主な変更内容は以下のとおりです。

- ・市外へ転出後も引き続き従前の学校へ通学を希望する場合において区域外就学ができる区域や通学時間の目安などを定めました。
- ・中学生が区域外就学を申請する際は、市内での居住を証明できる書類を求めるとしました。
- ・花小金井南町一丁目の12番から20番を、小平第八小学校が指定学校で花小金井小学校が選択可能学校である調整区域としました。

その他、具体的な基準などについて詳しくは小平市ホームページをご覧ください。

問合せ 学務課 ☎042(346)9570

この調査は、学校における子どもたちへの教科指導の充実や学習状況の改善などに役立てることを目的として、全国の公立小学校6年生および公立中学校3年生を対象に行っています。今年度は、4月19日に実施しました。その調査結果をお知らせします。

なお、各学校の「全国学力・学習状況調査」結果概要については、小平市教育委員会ホームページおよび各学校のホームページに公開しています。

生活習慣や学習環境等に関する質問紙の調査結果(一部)

| | | 小平市 | 東京都 | 全国 |
|-------------------------------|-----|------|------|------|
| 朝食を毎日食べていますか。 | 小学校 | 97.0 | 95.9 | 95.5 |
| | 中学校 | 94.8 | 93.4 | 93.3 |
| 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。 | 小学校 | 83.5 | 80.4 | 80.1 |
| | 中学校 | 76.0 | 75.6 | 75.2 |
| 毎日同じくらいの時刻に起きていますか。 | 小学校 | 91.0 | 90.7 | 90.8 |
| | 中学校 | 92.0 | 92.1 | 92.3 |
| いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。 | 小学校 | 97.3 | 96.0 | 96.6 |
| | 中学校 | 90.9 | 92.3 | 93.6 |
| 授業では、話し合う活動をよく行っていますか。 | 小学校 | 82.8 | 81.2 | 83.4 |
| | 中学校 | 79.6 | 76.1 | 77.8 |

注1) 表中の数値は平均正答率を表す。(単位: %)

〈結果〉

上記、10項目のうち、3項目で下回った他は、全国および東京都の平均を上回っています。

〈分析〉

昨年度と比べ、いじめをしてはいけないという意識は高まっています。いじめについて深く考えさせ、いじめは絶対に許されないことの自覚をさらに促していきます。毎日の朝食や起床の習慣については、よく身に付いています。

今後も学校と家庭、地域が共通理解の下、連携を図りつつ、よりよい生活習慣の定着、学習環境の改善に向けて取り組んでいきます。

教科に関する調査結果

| | 教科名 | 小平市 | 東京都 | 全国 |
|-----|-----|------|------|------|
| 小学校 | 国語A | 73.0 | 73.8 | 72.9 |
| | 国語B | 59.2 | 59.8 | 57.8 |
| | 算数A | 78.7 | 79.4 | 77.6 |
| | 算数B | 49.3 | 49.8 | 47.2 |
| 中学校 | 国語A | 77.8 | 76.9 | 75.6 |
| | 国語B | 70.4 | 68.6 | 66.5 |
| | 数学A | 64.4 | 63.5 | 62.2 |
| | 数学B | 46.4 | 45.6 | 44.1 |

注1) A: 主として知識に関する内容
B: 主として活用に関する内容

注2) 表中の数値は平均正答率を表す。(単位: %)

〈結果〉

小・中学校の平均正答率は、いずれも全国の平均正答率を上回り、中学校においては、東京都の平均正答率も上回っています。

〈分析〉

本市では、一部定着に課題があるものの知識に関する内容はおおむね全国および東京都と同程度となっています。活用を図る能力については、与えられた式を用いて、問題解決の方法を分かりやすく数学的表現で説明することなどを苦手としています。東京ベーシック・ドリルなどを活用し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、各校の「授業改善推進プラン」などに基づき、さらなる授業改善に努めます。

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果概要について

小・中学校入学通知書をお送りします

平成29年4月に小・中学校へ入学するお子さんの入学通知書を1月中旬に発送する予定です。

対象 ▽小学校: 平成22年4月2日～平成23年4月1日に生まれた方
▽中学校: 平成16年4月2日～平成17年4月1日に生まれた方

※小平市立以外の小・中学校に入学する方は、入学する学校の入学承諾書(許可書など)と、小平市教育委員会発行の入学通知書を学務課または東部・西部出張所、動く市役所へ持参のうえ、申請してください。

※外国籍のお子さんで入学を希望する場合は、学務課までご相談ください。

※部活動を目的とした越境通学はできません。

新入学説明会日程 左表のとおり

問合せ 学務課 ☎042(346)9570

新入学説明会日程

| 小学校名 | とき |
|----------|--------------------|
| 小平第一小学校 | 2月24日(金) 午後2時から |
| 小平第二小学校 | 2月7日(火) 午後2時50分から |
| 小平第三小学校 | 2月16日(木) 午後2時から |
| 小平第四小学校 | 2月17日(金) 午後2時から |
| 小平第五小学校 | 2月17日(金) 午後2時10分から |
| 小平第六小学校 | 2月21日(火) 午後2時から |
| 小平第七小学校 | 1月26日(木) 午後3時から |
| 小平第八小学校 | 2月16日(木) 午後2時30分から |
| 小平第九小学校 | 2月9日(木) 午後2時30分から |
| 小平第十小学校 | 2月10日(金) 午後2時から |
| 小平第十一小学校 | 2月24日(金) 午後2時から |
| 小平第十二小学校 | 2月13日(月) 午後3時から |
| 小平第十三小学校 | 2月10日(金) 午後2時30分から |
| 小平第十四小学校 | 2月17日(金) 午後2時30分から |
| 小平第十五小学校 | 2月23日(木) 午後2時から |
| 花小金井小学校 | 2月17日(金) 午後3時から |
| 鈴木小学校 | 2月7日(火) 午後2時30分から |
| 学園東小学校 | 2月17日(金) 午後2時45分から |
| 上宿小学校 | 2月17日(金) 午後2時30分から |

| 中学校名 | とき |
|----------|--------------------|
| 小平第一中学校 | 2月7日(火) 午後3時から |
| 小平第二中学校 | 2月7日(火) 午後2時30分から |
| 小平第三中学校 | 1月20日(金) 午後2時30分から |
| 小平第四中学校 | 2月3日(金) 午後4時から |
| 小平第五中学校 | 2月16日(木) 午後2時45分から |
| 小平第六中学校 | 2月3日(金) 午後3時から |
| 上水中学校 | 2月3日(金) 午後2時30分から |
| 花小金井南中学校 | 1月21日(土) 午前11時から |

体力ぐんぐんコーナー



科学技術が進歩し、生活が便利になってきたことや、遊び場の減少、携帯ゲーム機、スマートフォンの普及などにより、子どもたちが思いっきり体を動かす機会が少なくなっています。今回は、子どもの発育に合わせた運動の大切さや、体を動かすことと脳の働きの関係から、体力について考えていきましょう。

■幼少期にはいろいろな動きを

子どもの運動のきっかけとして、家事のお手伝いがあります。家事をするにはいくつかの感覚や動きが必要になります。例えば、くつ洗いは道具を握る力、上下左右に力を調整する感覚、また、しゃがんで行えば股関節や足首の柔軟性、バランス感覚などを養うことができます。専門家が行ったある研究の報告書では、幼児期に自由遊びをたくさん行って、いろいろな体の動きを経験した子どもは運動能力が高いという調査結果が示されています。

■運動すると学力が上がる?

実は運動を行うときには脳の多くの部分を使っているそうです。すばやい方向転換や、次に誰にボールをパスするのか、どの角度からシュートするとゴールに入るかなど、その場の状況に応じて考え、判断しながら体を動かすことが、知的能力を伸ばす可能性があると言っています。

■「コーデイネーショントレーニング」という言葉を存じでしょうか。

「コーデイネーショントレーニング」という言葉を存じでしょうか。脳と体幹を鍛えるトレーニングのことです。小平第十二小学校と上水中学校は、本年度、東京都教育委員会より、「コーデイネーショントレーニング地域拠点校」に指定されています。正しい姿勢を保つことができると、授業や学習への集中力が高まります。また、生涯にわたって日頃から

体を動かそうとする気持ちがあることを期待しています。

■自分の伸びが運動の楽しさに

自分の興味のあるスポーツや種目に必要なトレーニングを行って、技能を高めた記録を伸ばしたりすることが、もっと運動しようという子どものやる気を高めることにつながります。



■一日の始まりは運動から

朝の時間に運動をすると、一日の始まりから脳にたくさんの血液が流れ、酸素やエネルギーで満たされます。すると、脳がすっきりと冴えた状態で一日を過ごすことができるため、運動の効果がより長く続くと言われています。

小平第四小学校では、今年度から月曜日の朝を、全校児童が遊ぶ時間になりました。学習への集中力が高まるなど、早くも効果が出ているようです。体力をつけるだけでなく、気持ちを整え、心の健康を保つためにも、毎日の生活の中に、自分に合った運動を取り入れてみてはいかがでしょうか。

